

平成22年度 第2回花見川区公民館運営審議会議事録

第1 日 時 平成22年3月9日(水) 午後1時30分～午後3時30分

第2 場 所 幕張公民館 講習室

第3 出席者 (委員)(定足数8名>7.5名=15名/2)

出 席・・・ 15名

新田委員長、田中副委員長、竹内委員、加瀬委員、鶴岡委員、小嶋委員、吉田委員、大矢委員、東野委員、服部委員、鈴木委員、門脇委員、實川委員、藤江委員、花島委員

欠 席・・・ 0名

〈事務局〉

笹本館長、松尾副館長(幕張)、渡貫館長(花園)、田中館長(犢橋)、小川館長(検見川)、小原館長(花見川)、小泉館長(さつきが丘)、小出館長(こてはし台)、鹿野館長(長作)、石井館長(朝日ヶ丘)、今澤館長(幕張本郷)、池田主査補、永田主任主事(幕張)

第4 審議会の概要

1 議事録署名人の選出

(1) 竹内委員、花島委員が議事録署名人に指名された。

2 区内公民館事業及び区事業の平成23年度事業計画及び平成22年度事業報告について

(1) 松尾副館長及び各館長より、各公民館の主催事業の平成23年度事業計画と平成22年度事業報告を併せて説明した。

(2) 笹本館長より花見川区事業の平成23年度事業計画と平成22年度事業報告について併せて説明した。

3 その他 「第62回千葉県公民館研究大会」(於：君津市民文化ホール [君津市] 平成22年11月18日実施)の報告について

(1) 出席委員より報告、感想があった。

第5 審議会前・事務経過

1 配布資料確認

2 議事進行についての説明

3 傍聴人の入室・・・なし

第6 審議会・会議経過

- 1 開会のことば（進行 松尾副館長）
- 2 委員長あいさつ（新田委員長）
- 3 規定により、議長は委員長、副議長は副委員長が務めることになっており、それぞれの席に着く。
- 4 議事録署名人として、竹内委員、花島委員を選出した。
- 5 議題（審議事項）
 - (1) 承認事項 議案第1号 平成23年度事業計画について（奇数ページ）
 - (2) 報告事項 平成22年度事業報告について（偶数ページ）一括して、資料1～21ページに基づき、提案・説明した。

松尾副館長と各館長 各公民館の平成23年度事業計画の提案、並びに平成22年度事業経過を報告、説明した。

笹本館長 区事業の平成23年度事業計画の提案、並びに平成22年度事業経過を報告、説明した。

委員長 平成23年度事業計画の提案について意見を求める。

委員 花見川区の事業というのは全部の公民館が合同で行うのか。

事務局 20年度までは3つのブロックに分けて実施していたが、各館事業で実施しているものと似たような形になってきたため、中核である幕張公民館一つにまとめ、「子育てママのおしゃべりタイム」等の事業を実施しているところである。

委員 この予算措置としてはどういう割り振りになっているのか。

事務局 ブロック事業を廃し、幕張に一本化した際にその分の予算を各館に振り分けた。今現在、区事業としては「子育てママのおしゃべりタイム」の子育てサポーターや家庭教育アドバイザーに対する講師謝礼分としてはそのまま残してある。

委員 報償費予算について、平成22年度と比べてどうか。

事務局 ほぼ変わらない見込みである。

委員 全体を見ると平成22年度よりやや多く計画をたてているところがよい。幕張公民館を見ると家庭教育事

			業や少年対象事業で定員割れが起きているようだが、 どうということが原因と考えられるか。
事	務	局	家庭教育学級などは平成21年度に実施した事業と 同じような内容になってしまったのと、PR不足が考 えられる。平成23年度はそのような反省を踏まえ、 内容を一新して実施する計画である。
委		員	定員に満たない場合でも、ぜひ続けていただきたい、 特に夏休みの場合、40日間あるので公民館が連携し てできる事業を考えてほしい。
事	務	局	少年を対象とした「まなび隊」について事業数は 減らしていない。内容を吟味して行うということです。 また、幕張公民館の場合、夏休み期間中は1階の会議 室を開放して、子どもたちの勉強部屋として好評を いただいている。
委		員	幕張公民館の「0歳児からのベビーサイン」が23年 度の計画にないのはなぜか。私からみると公民館は 敷居が高いような気がする。少年対象とした事業に しても、親が申し込むのではなく、子どもたちが直接 申し込めるようにはできないか、また、成人が自由 参加できるものはないのか。
事	務	局	「0歳児からのベビーサイン」は区事業である「子育 てママのおしゃべりタイム」に併せて実施した。各区 の子育てサポーターが一同に会して行われた研修会 の中でもあったが、こういう特別な講座を組まなく てもクリアできるだろうという段階に来ている。「子育 てママのおしゃべりタイム」は子育て世代の女性たち が自由に参加していただいております、まさにそのもの である。その中でもいろいろ知りたいお母さんたちも おり、「ベビーサイン」が必要な場合は、子育てサポ ーターに相談してもらおうということで考え、今のとこ ろ計画にはない。
委		員	もし、実施が決まれば公表されるのか。
事	務	局	公表はするが、子育てサポーターの意見の中にも今の

形がいいという意見もある。あまり拘束して何をやりますかというと、せっかくの雰囲気も気軽に来ていた親子にとって、敷居が高くなってしまいうという問題もある。少年対象事業については、学校を通してパンフレットを配布し、小学生本人が材料費等持参して窓口へ直接申し込みに来るようにしてもらっている。成人を対象とした通常の講座で気軽に出入りできる講座ができるかについては今後検討する。

委員 団塊の世代が退職して地域に戻ってきており、その受け皿は公民館だと思うが、陶芸や絵画をやりたいという人は多い。先ほどの説明の中で陶芸教室を実施したが窯がなく、サークル化できなかった公民館がある。幕張公民館の23年度の計画の中で「陶芸教室」をやるそうだが。

事務局 幕張公民館の管内で陶芸をやっている方がいて、その方の窯を利用して実施する計画である。

委員 ハード面で難しい面もあるようだが、区内の公民館が連携してやれば各公民館で「陶芸教室」も可能ではないか。

委員 22年度の主催事業の中でクラブ・サークル化したものはあるか。かつて花園公民館の館長が郷土史の講座を実施したのがきっかけとなって、現在では公民館とサークルが一体となって講座を実施しているようだ。幕張公民館でも当時の副館長が助言者となって、リーダーを育てながらサークルに発展していく、そういう事例をたくさん出して、何年か後にはサークルが増えるように意図的な主催事業を組むというのも必要ではないか。

事務局 幕張公民館では「声を出して朗読する楽しさを学ぼう」を受講した一部の方たちが残って、サークル化し、現在活動中である。23年度に「Let's-Try 誰でも出来るおもちゃ修理」を実施する計画であるが、これはNPOの方に講師をお願いして、講座を終了

した受講生が今度はサークルを作って、月に1～2回幕張公民館でおもちゃを修理してもらえる活動に発展できればと思っている。花園公民館では、花づくりのボランティアや花見川の地元学サークルと連携して講座を実施している。また、22年度事業に「和菓子を作ろう」があるが、これもサークル化し、23年度から活動予定である。

委員 意識的に公民館が種をまいて育て、サークルに発展していけば公民館は活発化する。幕張公民館を見ていると国際交流、郷土史や花づくりの各ボランティアが活動していて、感心する。予算のない中でこれからの公民館の分野ではないか。この各ボランティアと共催で事業を実施していて良いと思う。ぜひ続けてほしい。

委員長 内容にもよるが、趣味等の講座からサークルに発展させることに力を入れてほしい。他に意見はあるか。

委員 各公民館において管内の学校と連携し、保護者などが公民館に集いやすくし、地域づくりや事業等を活発化するのは必要なのではないか。家庭教育学級等でPTAが組めなければ公民館がバックアップするという働きかけも積極的に行ってもらいたい。

委員 花園公民館の家庭教育学級を見ると各学校単位で実施されているようで出席率も高いようだが、どうい方を講師に招き、講座を実施しているのか。

事務局 学校に任せている部分もあるが、4月当初にPTAで年間計画を立ててもらい、そのうち公民館主催事業は3～4回、保護者が集まりやすいようなプログラムを組んでもらっている。学校を会場にできなければ公民館を会場にし、講師が見つからなければ公民館でできるだけ無償でできる方法でボランティア等紹介している。

委員 検見川公民館では「親子で作る手作り豆腐教室」を計画しているようだが、どういう形でやるのか。

事務局 講師をやっていただく方と調整中だが、小学校に通う児童と保護者がふれあえることを目的に実施する計画である。今後は成人教育事業に広げられればと考えている。

委員長 他にはないか。なければ平成23年度事業計画について承認してよいか。承認であれば拍手をお願いしたい。

— 拍手を持って承認の意思を表明 —

委員長 承認とする。平成22年度事業報告については、年度途中なので、次回、平成23年度第1回運営審議会で改めて報告していただくこととする。

(3) その他

委員 幕張公民館に来年度、エレベーターの設置が予定されているようだが、今後各公民館にも設置されるのか。

事務局 中核公民館を中心に計画的に進めている。

委員長 平成22年11月18日実施された「第62回千葉県公民館研究大会」について出席したので報告する。

— 委員長より報告、出席しての感想を述べた —

委員長 他に何かあるか。

委員 前回の運営審議会でも意見を申し上げたが、職員の人員配置について、各館ごとではなく、10館全体で効率的な運営を考えるべきだ。私の地域にも市の施設が何箇所かあるが、市の職員全体で考えていかないと人件費だけ膨らんでいき、組織防衛に走ってしまう。組織改正したといってもコスト削減しているとは思えない。基準に捉われず、一歩踏み込んでいかないと必要なお金が回っていかないと、何もできないのではないか、ぜひ視点を変えてほしい。

事務局 社会教育法では各館に館長、主事を置くことになっており、本市の場合、図書室のある館についてはもう1人、主事を置いている。市全体では今後数年かけて職員の定数削減を進めている。

笹本館長・松尾副館長 参考資料についての説明。

公民館図書室の利用状況について、経過報告を行った。

委員 長 質問をもとめたが特になく、審議会の終了を宣言。

第7 閉会のことば（笹本館長） 長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。貴重なご意見をこれからの公民館運営に参考とさせていただきます。

閉会 15時30分

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部幕張公民館
電話 043-273-7522